

短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2021年10月26日～2022年4月25日

第101期決算日：2021年11月25日 第104期決算日：2022年2月25日

第102期決算日：2021年12月27日 第105期決算日：2022年3月25日

第103期決算日：2022年1月25日 第106期決算日：2022年4月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり利益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第106期末（2022年4月25日）

基準価額 357円

純資産総額 44百万円

第101期～第106期

騰落率 - 93.1%

分配金合計(*) 80円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

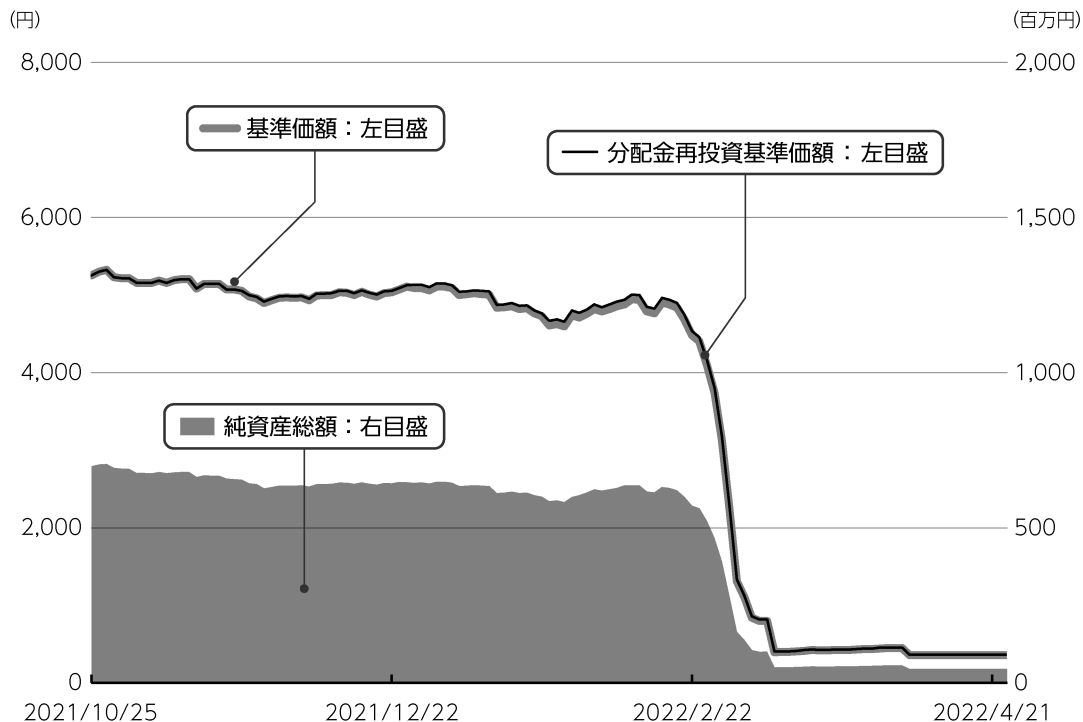
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第101期～第106期：2021年10月26日～2022年4月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第101期首	5,251円
第106期末	357円
既払分配金	80円
騰落率	-93.1%
	（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ93.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

ロシア国債の価格が大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

2021年10月26日～2022年4月25日

1万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.680	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(10)	(0.274)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.384)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.017	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	25	0.697	

作成期中の平均基準価額は、3,550円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

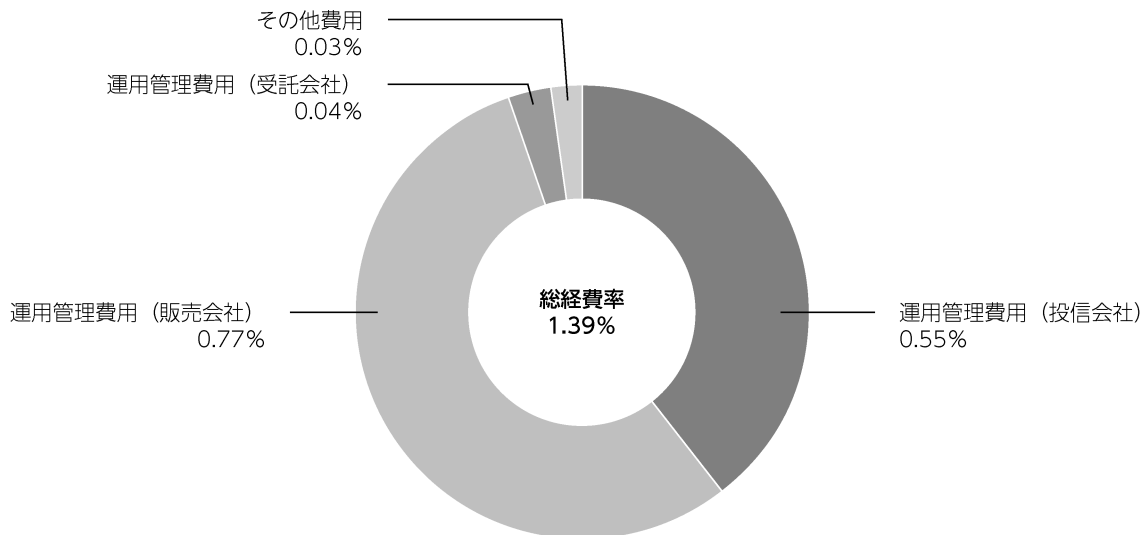
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.39%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

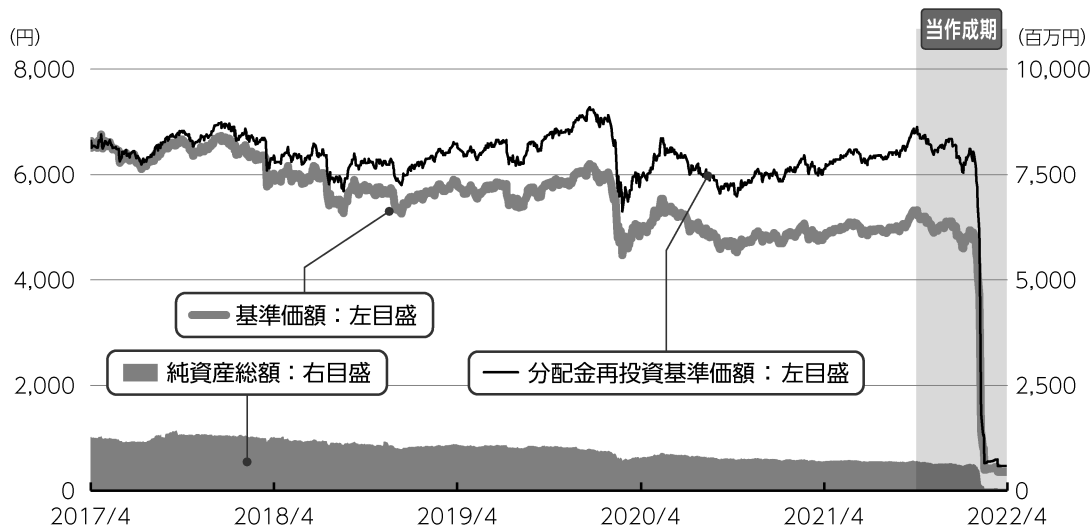
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年4月25日～2022年4月25日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年4月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/4/25 期初	2018/4/25 決算日	2019/4/25 決算日	2020/4/27 決算日	2021/4/26 決算日	2022/4/25 決算日
基準価額 (円)	6,577	6,016	5,847	4,958	4,830	357
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	360	360	260	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-3.3	3.5	-9.6	2.7	-92.3
純資産総額 (百万円)	1,257	1,272	1,093	782	695	44

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第101期～第106期：2021年10月26日～2022年4月25日

投資環境について

▶ 債券市況

ロシアの債券市場では、ロシア国債の価格が下落しました。

2022年2月下旬以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの経済制裁やそれに対するロシアの対抗措置に伴い、ロシア市場の流動性が著しく悪化したことなどを背景に、ロシア国債の価格は大幅に下落しました。

▶ 為替市況

ロシアルーブルは対円で上昇しました。

ロシア市場の流動性悪化などを背景に、2022年2月下旬から3月上旬にかけて、ロシアルーブルは対円で大幅に下落しました。しかし、ロシア政府が導入した資本取引規制による国際収支の改善などを背景に、その後、ロシアルーブルは対円で大きく上昇に転じたため、作成期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、作成期を通じて残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当該債券）を中心に組み入れました。

ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。

当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第101期 2021年10月26日～ 2021年11月25日	第102期 2021年11月26日～ 2021年12月27日	第103期 2021年12月28日～ 2022年1月25日	第104期 2022年1月26日～ 2022年2月25日	第105期 2022年2月26日～ 2022年3月25日	第106期 2022年3月26日～ 2022年4月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.400%)	20 (0.391%)	20 (0.432%)	20 (0.486%)	— (—%)	— (—%)
当期の収益	20	20	19	19	—	—
当期の収益以外	—	—	0	0	—	—
翌期繰越分配対象額	2,577	2,585	2,585	2,585	2,603	2,603

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ **短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）**
短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ **短期ロシアルーブル債マザーファンド**
欧米諸国によるロシアへの経済制裁などを背景に、ロシア市場の状況は流動的で見通すことは極めて困難なため、動向を注視しながら適切に運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やそれに対抗措置をロシアが設けたことにより、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となったほか、利金や償還金の受取制限などが掛かり、市場でのロシア国債等の取引が成立しない状況となったため、ロシアルーブル建て債券（以下、「当該債券」）の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となり、さらには、ロシアへの経済制裁等の影響に伴い、当該債券は市場において売買および決済が行われておらず、ロシアルーブルの日本円への換金の見込みは立っておりません。

これを受け、当ファンドが組み入れている当該債券において、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとすることといたしました。（2022年3月10日時点）

また、当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、4月6日以降は、組入債券に関して支払期日を迎えた利息および保有期間に応じて日々計上している未収利息を引き落とししました。（2022年4月6日時点）

なお、最新の情報については、当社HP（<https://www.am.mufg.jp/>）をご確認ください。

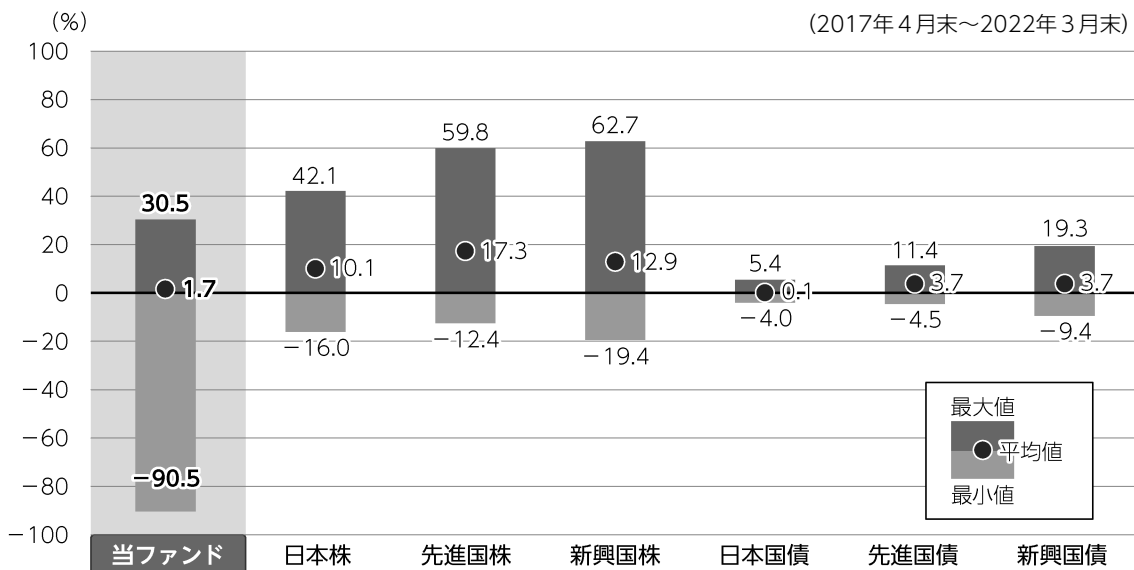
- ・当ファンドの決算日（2022年4月25日）時点においては、ロシア情勢緊迫化に伴い、設定・解約のお申込み受付を停止しております。なお、最新の情報については、当社HP（<https://www.am.mufg.jp/>）をご確認ください。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）
運用方針	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド 短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■短期ロシアルーブル債マザーファンド ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。</p>
運用方法	ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年4月から2022年3月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年4月25日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第106期末 2022年4月25日
短期ロシアルーブル債マザーファンド	99.8%

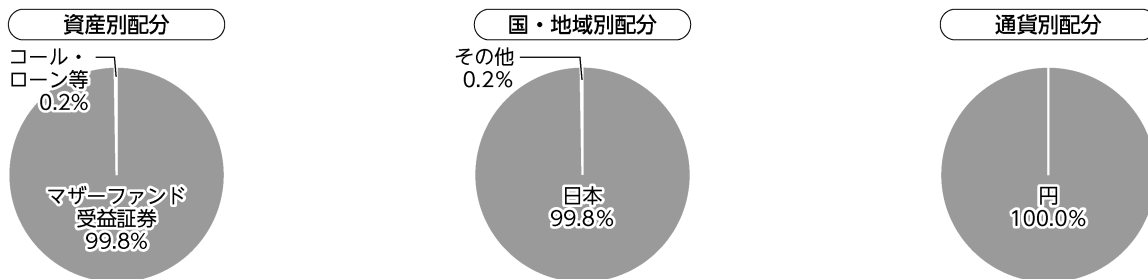
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目		第101期末 2021年11月25日	第102期末 2021年12月27日	第103期末 2022年1月25日	第104期末 2022年2月25日	第105期末 2022年3月25日	第106期末 2022年4月25日
純資産総額	(円)	643,010,637	644,475,793	585,296,159	521,447,353	53,349,789	44,786,372
受益権口数	(口)	1,290,283,612	1,265,339,104	1,269,297,648	1,274,036,251	1,253,411,772	1,253,411,772
1万口当たり基準価額	(円)	4,983	5,093	4,611	4,093	426	357

※当作成期間中（第101期～第106期）において追加設定元本は95,054,360円
同解約元本は171,046,812円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

290789

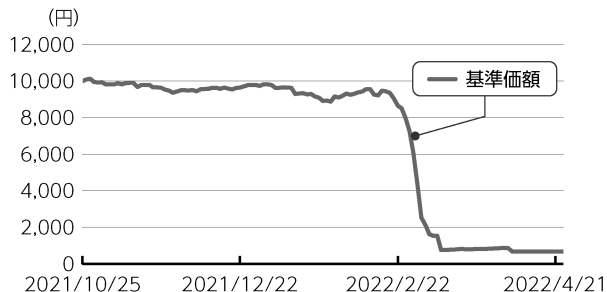
2022年4月25日現在

組入上位ファンドの概要

▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

基準価額の推移

2021年10月25日～2022年4月25日



1万口当たりの費用明細

2021年10月26日～2022年4月25日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	1	0.014
(保管費用)	(1)	(0.014)
合計	1	0.014

期中の平均基準価額は、6,810円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：3銘柄)

銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1 7 RUSSIA GOVT BON 230816	債券	ロシア	国債	0.0
2 7.1 RUSSIA OFZ 241016	債券	ロシア	国債	0.0
3 7.4 RUSSIA OFZ 240717	債券	ロシア	国債	0.0
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

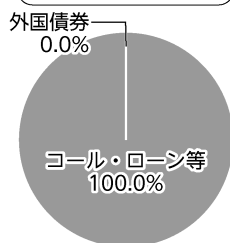
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

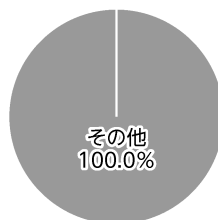
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

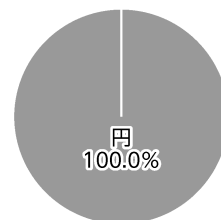
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

(注) ロシアルーブル建て債券の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となったことなどから、当該債券の評価価格をゼロとしています。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信